

(左上) 一体型LEDベースライト「sBシリーズ」が採用された2階のフリーアドレスオフィス (右上) Well-Beingの視点から植物を配置することで緑視率を高めたソリーテーブル
(左下) ガラスカーテンウォールから採光できる席では、外光制御による調光で省エネを実現 (右下) 2階中央の天井に設けられた採光用のハイサイドライト

パナソニック関東設備株式会社 本社ビル

**電気とガスのベストミックスにより
本社ビルのZEB Ready認証を取得**

2024年7月に竣工した本社ビルは、高断熱の躯体および高効率設備機器の導入により基準一次エネルギー消費量を53%削減し、太陽光発電による創エネを含まずにBEI^{※1}値0.47を達成してZEB Ready認証を取得した。同社は空調・給排水衛生設備の工事会社のため、設計段階から高効率設備によりZEB認証を取得し、ビル全体を設備のショールームとする計画が立てられた。躯体には断熱性と遮熱性を高めた外壁を使用し、ガラスカーテンウォールにLow-E複層ガラスを採用。ハイサイドライトを5カ所配置して外光を

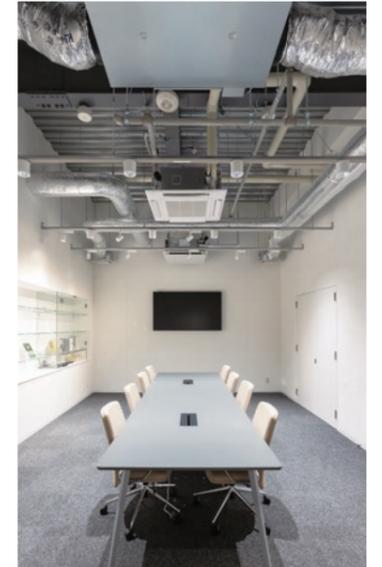
取り入れながら断熱性と採光性を両立している。また、空調設備では、高COP^{※2}タイプのビルマルチエアコンなどに加えてガスヒートポンプエアコン(GHP)を採用。この躯体の省エネ性と設備機器の省エネ性によって、ZEB Readyを達成した。GHPの採用にあたっては、消費電力のピーク値を下げることで、電力需要の逼迫緩和が想定されている。また、働きやすさや快適性にも配慮し、執務エリアを中心に、「ナノイー」搭載室内機と除菌脱臭機「ジアイーノ」を設置。さらに、空調機の運転効率や管理業務を改善する「Panasonic ヒーパック クラウド HVAC CLOUD」の導入によって、快適性を損わず省エネ性を向上することが計画されている。



パナソニック関東設備株式会社 本社ビル
所在地/群馬県前橋市古市町
事業主/パナソニック関東設備株式会社
設計/株式会社松本金彌建築計画事務所
建築工事/株式会社熊谷組
電気設備工事/株式会社関電工
空調設備工事/株式会社関電工
竣工/2024年7月
規模/地上2階建(延床面積:約1,480m²)



コーヒープレイクで一息つける「カフェコーナー」



天井カセット形「ジアイーノ」、パッケージエアコン、全熱交換機の連携が見えるようにスケルトン天井にした1階プレゼンテーションルーム



電力デマンド削減効果大きいGHP(35.5kW)2台を採用



高COPタイプのビル用マルチエアコン室外機



屋上に設置された太陽電池モジュール(9.9kW)

設備機器の基準一次エネルギー消費量比較



※1 Building Energy Index: エネルギー消費性能計算プログラムに基づく、基準建築物と比較した時の設計建築物の一次エネルギー消費量比率。再生可能エネルギーを除きBEI ≤ 0.50の場合に、ZEBを達成したと判定される。
※2 Coefficient of Performance: 冷房もしくは暖房能力[kW]を消費電力消費電力[kW]で除した数値

主な納入設備

- ビル用マルチエアコン ●オフィス・店舗用エアコン
- ガスヒートポンプエアコン ●家庭用エアコン ●全熱交換ユニット
- 天井埋込形「ジアイーノ」 ●天井カセット形「ジアイーノ」
- 業務用空気空調連携システム ●「Panasonic HVAC CLOUD」

画像提供: パナソニック関東設備株式会社